

令和元年度 文化祭 テーマ 「風林華山」

ふうりんかざん

天候にも恵まれ、劇、合唱コンクール、文化系部活動によるパフォーマンス、食品バザーなど、中高一貫教育校ならではの文化祭を実施することができました。生徒達は文化祭のサブテーマである **～enjoyすること青春のごとし～** のとおり、それぞれの華を見事に咲かせ、平成と令和をつなぐ進化した文化祭を成功させました。

●主な日程

◇9月27日(金)

- ・開会式
- ・生徒会：オープニング
- ・中学生：英語スピーチ
- ・中学環境美化委員会：発表
- ・中学校：合唱コンクール
- ・和太鼓部：和太鼓演奏
- ・高校2年2組：ダンス
- ・中学校3年生：劇
- ・高校2年5組：劇
- ・高校2年3組：ミュージカル
- ・生徒会：CM上映
- ・幕あい企画

◇9月28日(土)

・展示(主なもの)

映画・縁日・お化け屋敷・宇土未来探究講座・各種委員会・文化系部活動など

・食品バザー(主なもの)

ホットドック・うどん・ポップコーン・カレー・焼き鳥・かき氷・マドレーヌなど

・書道パフォーマンス

・バンド・ヴァイオリン・ダンス

・ペットボトルロケット大会

・吹奏楽部演奏

・エンディング

・表彰式・閉会式



題字 園川さん(宇土小出身 書道部二年)

宇土中新聞



宇土中・宇土高の
ブログは日々更新
中。詳しくは上の
QRコードより



多くの皆様にご来校いただき、誠にありがとうございました。また、PTAの皆様には、早朝よりバザー等のご協力、大変お世話になりました。

中学合唱コンクール 優勝3年2組



3年2組 雨森 主真 君(花園小)の感想
 僕は3年連続で指揮者を務めました。1,2年生の頃は先輩方の素晴らしいパフォーマンスに圧倒され、優勝を逃していました。今年は練習後の円陣やクラスメイト一人一人の声量の調整を行うなどして工夫し、その甲斐あってか、3年目にして悲願の優勝を成し遂げることができました。優勝を達成するには協力的な仲間や各パートをまとめ上げてくれたパートリーダーの存在なしではあり得ませんでした。ありがとう！3の2大好きだー！

中学英語スピーチ (代表)



3年1組 渡辺詩衣奈さん(中央小)の感想
 私は10月2日(水)に開催された高円宮杯暗唱大会で発表する「言葉おしみ」について自分なりに考えたことを文化祭でスピーチさせていただきました。
 まず、このことについて考えるきっかけになったのは学校での道徳の授業で「言葉おしみ」について学んだことです。自分が周囲の人と関わりを持っていく中で相手が必ずしも自分の気持ちを組んではくれないことがあります。それはどの言語でも同様で、理解してくれない事を悩むより、相手の気持ちを理解しようとし、わかりやすく伝える努力を続けることが必要なのではないかと考え、そのことを英語で表現することに決めました。発表時はこれらを英語だけで伝えられるか不安でしたが、覚えた言葉を一つ一つ思い出しながら頑張りました。
 私のスピーチを聞いた方が言葉でわかりやすく伝えようとする事の大切さについて考えるきっかけになればいいなと思います。

中学3年 劇 題名：童話裁判



3年1組 小鉢 敬介君(松橋小)の感想

文化祭の劇を振り返って一番感じたことは、仲間にとっても助けられたことです。私自身、劇の監督は初めてでよくわからず、困ったことも沢山ありましたが、役割ごとに皆に助けられました。劇の脚本もオリジナル、衣装も本格的なものをを用意してくれました。練習にあった音楽も真剣に選んでくれました。今回の劇の成功はチームワークと皆の協力のおかげです。とても感謝しています。

宇城中学校駅伝競走大会(10月16日)



さわやかな秋晴れのもと、豊野中学校前を発着点として宇城中学校駅伝競走大会が10月16日(水)に開催されました。本校からも男女それぞれ2チーム、合計4チームが参加しました。選手達はこれまでの練習の成果を存分に発揮し、一本の襷に思いを込めて最後まで諦めずに力走しました。今回は、男・女それぞれのキャプテンに感想を書いてもらいました。

●男子キャプテン 緒方 陸斗君(豊川小)

私たちは、選手、名マネージャー4名で日々練習に励んできました。本番直前の怪我や筋肉痛など沢山のトラブルに見舞われましたが、みんなが笑顔で大会を終えることができました。三年生にとって最後の大会をこのチームで走ることができて本当に良かったです。

●女子キャプテン 村上 瑞季さん(壺川小)

3年間の駅伝を通して自分自身大きく成長できたと思います。練習では仲間と共に励まし合いながら限界まで追い込みました。本番では一人一人の思いが詰まった襷をゴールまでつなぎきることができ、とても嬉しかったし、充実感を得ることができました。今回出られなかった人達も応援やサポートをしてくれて、宇土中生全員が1つになった駅伝大会となりました。

命の大切さを学ぶ学習(10月1日)

交通死亡事故被害者遺族で犯罪被害者支援センター理事の山下良一氏に「命の大切さ」と題して講演をしていただきました。



加害者は刑期を終えれば事故の件は終わるのかもしれないが、遺族は誕生日や子どもの成人式や結婚式等、人生の節目を迎える度に亡くなったことを実感させられるといった、被害者の苦しい胸の内をお話していただきました。また、自転車通学生が多い本校の状況を踏まえて、遅刻しそうになって慌てて登校する等がないように、時間に余裕を持って行動してほしいというメッセージがありました。

普段見落としてしまいがちな「命」について、交通ルール等の身近な規範を守ることが「命の大切さ」につながるという理解を、本校生一人一人が更に深める機会となりました。